

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公開番号】特開2001-181980(P2001-181980A)

【公開日】平成13年7月3日(2001.7.3)

【出願番号】特願2000-315348(P2000-315348)

【国際特許分類】

**D 0 6 M 15/267 (2006.01)**

**D 0 6 M 13/165 (2006.01)**

**D 0 6 M 13/463 (2006.01)**

**D 0 6 M 15/27 (2006.01)**

**D 0 6 M 15/564 (2006.01)**

**C 0 8 F 220/02 (2006.01)**

【F I】

D 0 6 M 15/267

D 0 6 M 13/165

D 0 6 M 13/463

D 0 6 M 15/27

D 0 6 M 15/564

C 0 8 F 220/02

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月12日(2007.10.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも1種のカチオン界面活性剤および高分子量レオロジー変性剤を含んでなる増粘された水性布帛柔軟剤組成物であって、前記高分子量レオロジー変性剤は、

(i) 5～80質量%のアクリル酸のアルキルエステルまたはメタクリル酸のアルキルエステル、ここで前記アルキル基は1～18個の炭素原子を有する、

(ii) 5～80質量%の少なくとも1つの窒素または硫黄原子を含有するビニル置換複素環式化合物、(メタ)アクリルアミド、モノ-またはジ-アルキルアミノアルキル(メタ)アクリレート、およびモノまたはジ-アルキルアミノアルキル(メタ)アクリルアミドから成る群から選択されるモノマー、ここでアルキル基は1～4個の炭素原子を有する、および

(iii) 0.01～30質量%の(a)モノエチレン系不飽和イソシアネートと、1,2-ブチレンオキシドおよび1,2-エチレンオキシドのC<sub>1</sub>-C<sub>4</sub>アルコキシ末端ブロックコポリマーを含んでなる非イオン界面活性剤とのウレタン反応生成物、(b)非イオン界面活性剤をエチレン系不飽和カルボン酸またはその無水物と縮合させることによって得られたエチレン系不飽和共重合性界面活性剤モノマー、(c)モノエチレン系不飽和モノイソシアネートとアミン官能性を有する非イオン界面活性剤との尿素反応生成物から成る群から選択される界面活性剤モノマー、(d)式  $\text{CH}_2 = \text{CR}'\text{CH}_2\text{O}A_mB_nA_pR$  のアリルエーテル、式中R'は水素またはメチルであり、Aはプロピレンオキシまたはブチレンオキシであり、Bはエチレンオキシであり、nはゼロまたは整数であり、mおよびpはゼロまたはnより小さい整数であり、そしてRは少なくとも8個の炭素原子を有する疎水性基である、および(e)一価非イオン

界面活性剤とモノエチレン系不飽和イソシアネートとのウレタン反応生成物である非イオンウレタンモノマーから成る群から選択される会合性モノマー、

ここでモノマーの質量%は100質量%に基づく、  
の重合生成物である、増粘された水性布帛柔軟剤組成物。

【請求項2】 前記高分子量レオロジー変性剤は、(i)前記アクリル酸のアルキルエステルまたはメタクリル酸のアルキルエステル、(ii)前記モノマー、(iii)前記会合性モノマー、および(iv)0.01~1質量%の少なくとも2つのエチレン系不飽和部分を有する架橋性モノマーの重合生成物であり、ここでモノマーの質量%は100質量%に基づく、請求項1に記載の増粘された布帛柔軟剤組成物。

【請求項3】 前記高分子量レオロジー変性剤のモノマー(ii)がN,N-ジメチルアミノエチルメタクリレート、N,N-ジエチルアミノエチルアクリレート、N,N-ジエチルアミノエチルメタクリレート、N-t-ブチルアミノエチルアクリレート、N-t-ブチルアミノエチルメタクリレート、N,N-ジメチルアミノプロピルアクリルアミド、N,N-ジメチルアミノプロピルメタクリルアミド、N,N-ジエチルアミノプロピルアクリルアミドおよびN,N-ジエチルアミノプロピルメタクリルアミドから成る群から選択される、請求項1または2に記載の増粘された布帛柔軟剤組成物。

【請求項4】 布帛柔軟剤組成物が非イオン、アニオン、両性および双性イオン界面活性剤から成る群から選択される少なくとも1種の界面活性剤をさらに含む、請求項1~3のいずれか一項に記載の増粘された布帛柔軟剤組成物。

【請求項5】 前記少なくとも1種のカチオン界面活性剤が、前記布帛柔軟剤組成物の質量に基づいて0.1~30質量%で存在する、請求項1~4のいずれか一項に記載の増粘された布帛柔軟剤組成物。

【請求項6】 前記高分子量レオロジー変性剤が、前記布帛柔軟剤組成物の質量に基づいて0.01~40質量%で存在する、請求項1~5のいずれか一項に記載の増粘された布帛柔軟剤組成物。

【請求項7】 前記少なくとも1種の界面活性剤が、少なくとも1種のカチオン界面活性剤および少なくとも1種の非イオン界面活性剤の組合せを含む、請求項4に記載の増粘された布帛柔軟剤組成物。